

平成 28 年度 事業報告書

平成 28 年 4 月 1 日から平成 29 年 3 月 31 日まで

一般社団法人エル・システムジャパン

1. 事業実施の方針

相馬市、大槌町との締結されている「音楽で生きる力を育む事業」に関する協定書に基づき、下記の事業を実施した。なお、相馬市における一部事業は、昨年に引き続き市、及び国（文化庁）から特別補助金を受けて実施することとなった。これらの事業実施、モニタリング、及び、今後想定される他地域（長野県駒ヶ根市）での新規活動展開を想定した必要な各種広報、資金調達、調査活動も行った。業務の拡大に作業可能な人員が足りていない状況もあり、公益社団法人化の作業は次年度へ引き継ぐこととなった。

2. 事業の実施に関する事項

非営利型の一般社団法人法に関わる事業を実施する。

相馬事業

事業名	事業内容	期間	場所	受益者	支出見込み額(千円)	支出額(千円)
子どもオケ、コーラスの運営	約 70 人が参加する弦楽器教室は水曜夜の自主練習、土曜の初心者クラス、グループレッスン、日曜の合同練習。約 50 人参加のコーラスは金曜夜の合同練習を基本としている。また、夏期には合同研修会を実施した。必要な楽器な購入、アプリ等の教材開発も積極的に行った。	4～3 月	市民会館、防災備蓄倉庫	市内小中高校の児童生徒	30,986	25,445
鑑賞教室、授業、放課後活動等の学校支援	中一小、八幡小、桜丘小における放課後クラブ活動、及び市内各校授業における合唱指導、鼓笛隊指導、鑑賞教室を中心に支援を行った。	4～3 月	市内対象小中学校	市内小中学校の児童生徒	5,500	5,000
子ども音楽祭	第 3 回子ども音楽祭を 12 月 24、25 日両日に実施した。相双地区吹奏楽連盟の協力を得ながら、相馬市内の中高吹奏楽活動と連携し、吹奏楽のステージ、及び、オーケストラへの管楽器奏者の確保を行った。コロンえりか氏、相馬合唱団エスポワールが賛助出演した。	12 月	相馬市民会館	相馬子どもオケ＆コーラス、市内中高内吹奏楽部	6,675	6,331

事業名	事業内容	期間	場所	受益者	支出見込み額(千円)	支出額(千円)
各種交流活動	アンゴラからのカポソカ音楽学院オーケストラ、ベネズエラからフランシスコミランダユースオーケストラ、そして、台湾からバタフライ交響楽団と、世界各地のエル・システムプログラムの子どもたちが相馬を訪問し、コンサート等での交流を深めた。また、バイオリニストであるパパプラミ氏、ピアニストの萩原麻未氏、バイロイト祝祭ヴァイオリン・クアルテットのメンバーからマスタークラスも受ける機会にも恵まれた。	4, 5, 7, 11, 3月	相馬市民会館、はまなす館	市内小学校の児童生徒、他未就学児	2,000	2,201
作曲教室	LVMH 社特別協賛で、相馬にて 5 回の作曲教室、及び東京にてトークイベントを実施することができた。	6, 8, 9, 10, 11, 12月	アートメゾン、表参道エスパス	市内小学校の児童生徒、他未就学児	4,000	4,000
外部評価調査	これまでの青山学院大学の調査を受け継ぎ、地域社会への活動の影響を分析した慶應義塾大学 SFC 研究所によるインパクト評価調査を実施した。	4～3月	市内	各種関係者	2,000	1,965

大槌事業

事業名	事業内容	期間	場所	受益者	支出見込み額(千円)	支出額(千円)
弦楽器教室の運営	平日午後、子どもセンター、吉里っ子スクールでは平均 5～15 人の児童が参加。週末（土曜）は、終日教室を実施し、多い時は 20 人近い未就学児から小学生が参加している。夏期には相馬にて合同での研修会を実施した。	4～3月	町内対象幼稚、小中学校、教育センター、沢山地区集会所	左記の幼稚、小中学校の児童生徒	8,000	7,604
町内学校吹奏楽活動への支援	コンクール、演奏会前を中心に小中高吹奏楽部員（約 30 人）への技術支援を行った。なお、必要な楽器の購入も実施した。	4～3月	町内対象小中高	左記の小中高の児童生徒	6,768	5,500

事業名	事業内容	期間	場所	受益者	支出見込み額(千円)	支出額(千円)
各種交流活動	12月18日に、ゲスト音楽家の参加のもと、子どもオケ単独での初めてのコンサートを実施した。	12、2月	未定	左記の幼保、小中高の児童生徒	200	250
外部評価調査	これまでの青山学院大学の調査を受け継ぎ、地域社会への活動の影響を分析した慶應義塾大学SFC研究所によるインパクト評価調査を実施した。	4～3月	市内	各種関係者	1,500	1,413

駒ヶ根事業

事業名	事業内容	期間	場所	受益者	支出見込み額(千円)	支出額(千円)
事前調査	翌年度からの事業開始に向けた各種調査、研究活動を実施した。	8～3月	駒ヶ根市内		100	27

広報資金調達事業

事業名	事業内容	期間	場所	受益者	支出見込み額(千円)	支出額(千円)
各種広報・資金調達活動	各種広報(HP、広報物作成)関連業務	4～3月	東京		3,500	4,000
	資金調達(企業連携促進、個人寄付マーケティング)関連業務	4～3月			6,400	6,116
	各種旅費、経費				600	373